

「第 17 回日中建築住宅会議」 参加報告

「日中建築住宅会議」は、国土交通省住宅局と中国住宅都市農村建設部の間で定期的開催される会議で、毎年、中国と日本を交互に開催されてきましたが、昨年は、尖閣諸島に端を発する日中関係の緊張化の中、残念ながら開催には至りませんでした。しかしながら、今年は日中両国政府の関係の皆様の努力により、10月末に中国の柳州で「第17回日中建築住宅会議」が開催されました。

会議名：第17回日中建築住宅会議

テーマ：住宅の産業化

主催者：日本側；国土交通省住宅局 中国側；中国住宅都市農村建設部

日 時：2013年10月28日（月）

場 所：中国・広西チワン族自治区柳州市 柳州飯店会議中心柳江庁

参加者：日本側；国土交通省住宅局 広畑審議官、住宅生産課木造住宅振興室 林田室長

UR 都市機構 1 名、建築・住宅国際機構 1 名

日中建築住宅産業協議会 9 名

社本副会長、松野運営委員長、会員企業 3 社 6 名、事務局（1 名）

中国側；中国住宅都市農村建設部 不動産市場監督管理司 瀋司長、張副処長、王工程師

同 計画財務外事司 張副処長、他 同 住宅産業化促進センター 文副主任、他

広西チワン族自治区人民政府、柳州市人民政府、民間企業、約 90 名

日 程：09：00 ～ 09：10 開会宣言と来賓紹介

09：10 ～ 09：20 中国住宅都市農村建設部不動産市場監督管理司、瀋司長挨拶

09：20 ～ 09：30 国土交通省住宅局、広畑審議官挨拶

09：30 ～ 09：40 柳州市、肖市長祝辞時

10：10 ～ 15：35 日中双方の発表

15：35 ～ 16：00 閉会式

16：00 ～ 18：00 柳州市内の住宅開発プロジェクト視察

発 表：日本側；① 日本の住宅建設行政の動向（国土交通省、林田室長）

② UR における集合住宅・住まいづくりへの取り組み（UR、間瀬チームリーダー）

③ 中国における LIXIL の取り組みと内装住宅に関する事例紹介（LIXIL、庵原執行役員）

中国側；後述 4 件



会議は、瀋司長より、「中日建築住宅会議を通じて、中日両国が現代建築・住宅分野の政策、人材、技術等における交流と協力は、ますます強化されている。今年の会議の主題は、住宅産業化の発展であり、

建築・住宅分野における緑色化、省エネ、産業化への発展を推進することは、中国の不動産業界が持続的に発展を遂げるために必要な項目である。」との発言があり始まりました。

広畑審議官は、「日本の住宅市場は、これまでに蓄積されてきた住宅ストックには、耐震化や省エネ化が不十分なものがあり、その対策を進めている。また、新築住宅については、高齢化への対応、スマート化、長寿命化といった将来を見据えた取り組みを進めている。」と日本の状況を紹介し、「今回の会議が、日中両国の建築・住宅分野の発展と両国の一層の相互理解と交流につながることを期待する。」との挨拶がありました。

日本側の発表では、先ず、国土交通省から「日本の住宅・建築行政の最近の動向」として、「住宅・建築物の耐震化の促進」、「住宅・建築物の省エネ化の推進」、「住宅の長寿命化」、「高齢社会への対応」について、日本の取り組みの発表がありました。次に、UR 都市機構より、「UR における集合住宅・住まいづくりへの取り組み」として、「団地づくりの変遷」、「住まいづくりの変遷」「UR 賃貸住宅ストックの再生・再編」、「団地再生事業（建替え事業）の概要」について、UR が実際に取り組んできた実績や現在の取り組みを具体的事例を示しながら発表をいただきました。LIXIL からは、「中国に於ける LIXIL の取り組みと内装住宅に対する事例紹介」として、内装付住宅への取り組みとして、Haier との取り組みや合弁会社である Haili（海驪）との取り組みの紹介。また、日中住宅モデルプロジェクトにおける、内装に関する基本設計や部品提供についての紹介、更には老人住宅に関する紹介があり、今後、中国市場は、「SI（100年住宅）」と「UD（高齢者住宅）」が進みキーワードとなる。」と締めくくられました。

中国側の発表は、以下の4テーマについて発表がありました。

- ① 「中国の住宅産業現代化の発展」：住宅産業の現代化は、省エネ化により資源の節約に貢献するだけでなく、住宅の品質が向上し購入者の需要を満足する。今後、住宅産業現代化の科学的発展を推進し、建設・住宅業界のモデル転換と質の向上を推進する。
- ② 「工業化、中国建築のグリーン革命」：民間企業である遠大住宅工業有限公司は、1996年に設立以降、科学研究費を約10億元投資して工業化建築技術に関する研究開発を行っている。既に、北京、天津、上海、浙江省、江蘇省、安徽省、湖南省などに10社のPC工場を有す。
- ③ 「瀋陽市の現代建築産業化推進について」：現代建築産業の発展の推進は、瀋陽市にとって産業構造の変革、経済成長体系の転換であり、重大な戦略的決定である。不動産市場の拡大を図り、産業化を行い、科学技術とイノベーションを推進する。また、国内外の都市や企業の経験や手法を学んでいきたい。
- ④ 「住宅の産業化の推進による住宅建品質の向上」：柳州市は、調査設計管理を強化し再生可能エネルギーの応用とグリーン建築の発展を促進している。課題としては、住宅部品の生産体系と標準体型を住宅建設の産業化、集約化、標準化の方向へ発展させるよう整備を行う必要がある。

全体行程

日程	日時	内容	宿泊地
第1日	10/27（日）	上海経由柳州入り	柳州
第2日	10/28（月）	第17回日中建築住宅会議 9:30～16:00 柳州市の住宅プロジェクト視察 16:00～18:00	柳州
第3日	10/29（火）	桂林市の住宅プロジェクト視察 桂林 19:50→上海（浦東） 21:05 CA1970	上海
第4日	10/30（水）	上海市内視察後、帰国	

来年は、日本で第18回会議が開催される予定です。機会がありましたら、是非皆様にもご参加いただきたいと思えます。

会議の詳細は、会報誌「日中建協 NEWS」No.207号（2014年1・2月号）に記載しています。